

# 看護部新人研修

2021年の春、看護部は新人看護師26名、既卒看護師10名の新しい仲間を迎えてスタートしました。新人看護師は、看護師国家試験に合格後、初めて就業する看護師です。既卒看護師は、他施設で就業経験のある看護師です。今回は、新人看護師研修の様子を中心にご紹介いたします。

4月1日(木)、辞令交付、入職式、新年度採用者オリエンテーションへと続きます。新採用者オリエンテーションは、医師・薬剤師・事務部など多職種合同で行われます。当院の就業規則や医療安全関係、感染対策、救急・防災体制など、当院の概要や役割について知る機会となります。

4月5日(月)からは、看護部オリエンテーションです。看護部長から看護部の概要、副看護部長から勤務体制や教育体制、看護業務についての説明が行われました。当院で使用する電子カルテの操作方法や日々の業務で使用するさまざまなシステムについて学びます。電子カルテは、研修用モードで実際の操作を体験しました。

4月6日(火)は新人看護師のみの研修です。新人研修のスタートに、1年後に目指す看護師像についてグループで話し合いました。院内見学では、業務で行き来するリハビリテーション室・各種検査室などの場所を確認しました。放射線科ではMRIの磁場体験、薬剤部では薬剤の受け取り手順を学びました。

4月8日(木)からは、看護技術や、思考を鍛える研修が始まりました。当院の新人看護師研修の講師は、看護師長・副看護師長の他に、部署の先輩看護師である「臨床教育看護師」が務めています。新人看護師研修では、臨床教育看護師が実際の業務に基づいた研修を計画して実践しています。研修の進捗状況を確認しながら、部署での教育の指揮を執り、研修と臨床現場での橋渡しをしています。

4月の3週目からは、臨床現場での研修が始まります。臨床現場に入る前に、実践がイメージしやすいようにシミュレーションを行いました。今回のシミュレーションでは、内服薬の投与を題材に、薬の準備から内服していただくところまでを実施しました。研修用の電子カルテや内服薬に見立てたラムネを用い、模擬患者さんに扮した先輩看護師の迫真の演技によって、実践に近づける工夫をしています。

研修は徐々に臨床現場が中心となり、多職種や患者の皆様から多くのことを学ばせていただきます。日々研鑽中の新人看護師を今後ともよろしくお願いたします。

(教育担当副看護師長 青池 英子)

全体研修



新人看護師 集合写真



1年後に目指す看護師像



看護技術:内服準備



看護技術:シミュレーション

